

学部 / 看護専門領域 / 看護の発展

科目コード：120523

クリティカルケア看護論 Critical care nursing

担当教員 村井 嘉子

実務経験

開講年次 4年次後期 単位数 1 授業形態 講義・演習

必修・選択 選択 時間数 15

Keywords 急性期看護、危機的状態、重症ケア、救急看護

学習目的・目標
目的：クリティカルケアを必要とする患者の身体的・心理的・社会的側面を理解し、患者とその家族に適切な看護援助のために、クリティカルケア看護の概念、特徴、患者の生命・生活を支える援助の方法について学習する。目標：①クリティカルケア看護の基本的概要を理解する。②クリティカルケアが必要な患者の身体的・心理的・社会的特徴および家族の特徴を理解する。③クリティカルケアを必要とする患者・家族への援助方法を理解する。④クリティカルケア看護における倫理的課題について考察する。

授業計画・内容

回	内容
1	クリティカルケア看護の概要 ・日本の救急医療制度、救急看護の特徴と役割 ・日本の集中治療と看護の歴史の変遷、特徴と役割
2	クリティカルケア看護が必要な患者の特徴とその援助① ・非日常的な療養環境、テクノロジーを用いた生命維持と安楽の両立 ・ケアとキュアが融合するクリティカルケア看護の専門性
3	クリティカルケア看護が必要な患者の特徴とその援助② ・外傷、熱傷、中毒患者の治療と看護ケア
4	クリティカルケア看護が必要な患者の特徴とその援助③ ・人工呼吸器装着患者の治療と看護ケア、循環動態のコントロールと看護ケア
5	クリティカルケア看護が必要な患者の家族の特徴とその援助 ・心理的特徴、家族のニーズの把握と心のケア
6	クリティカルケア看護におけるリハビリテーション ・二次的障害予防と多職種連携、医療チーム間のコーディネート
7	クリティカルケア看護における倫理的課題(事例を通して) ・救命困難な状況に陥った患者へのケア ・日本における脳死と臓器移植の現状 ・自己決定を尊重する援助と蘇生措置拒否に対する対応 ・看護研究遂行における倫理的配慮 など
8	まとめ

教科書 授業時に資料を配布する

参考図書等 池松裕子編集、クリティカルケア看護論、ヌーベルヒロカワ 道又元裕ほか、クリティカルケア看護論、医学書院
佐藤まゆみ・林直子編集、急性期看護II、南江堂 山勢博彰代表著、救急看護学、医学書院

評価指標 授業時間の2/3以上の出席をもとに、授業内容を理解した上でのレポート内容の評価80%
授業中のディスカッションの参画20%

関連科目 成人看護学概論、成人看護方法論I及びII、成人看護学実習A

教員から学生へのメッセージ
クリティカルケア看護に興味のある方を歓迎します。人間の生命を救うという意味においては、クリティカルケア看護は看護の原点とも言えます。医療制度の変化、医療技術の高度化・進歩によって、急性期病院ではクリティカルケア看護を受ける患者が多くを占め、施設内の様々な場所で治療を受ける機会が多くなっています。